

# 食べてかみしめ交流

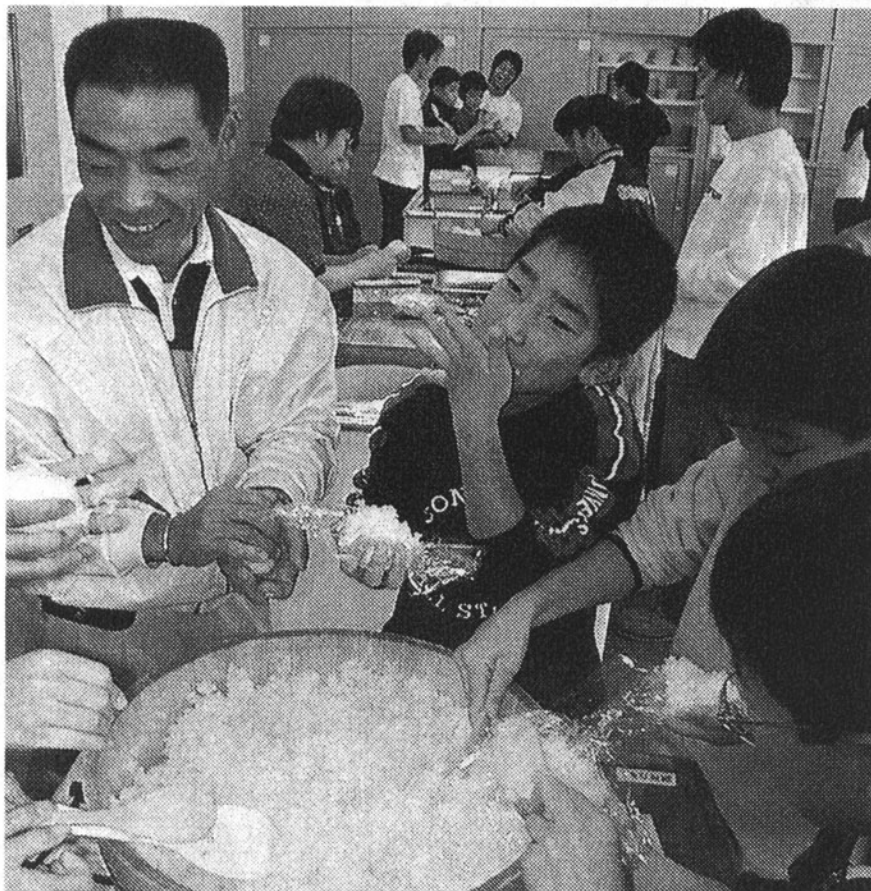
都市部の子供たちに地元農家との交流を深めながらコメに関心をもってもらう「いもお米サミット」(県子ども会連合会など主催)

が十六日、篠山市細工所のハートピアセンターで開かれた。尼崎市と伊丹市から参加した小学生から高校生までの約六十人は、地元農家の手ほどきを受けながら行った田植えと稲刈りの体験発表や、自分たちが収穫したコメでおにぎりを作るなどしてコメや農作業に対する理解を深め合った。

同連合会が約五年前から尼崎、伊丹両市の子ども会の子供たちを招いて実施。

参加者は、篠山市細工所と今田町休場の二か所で農作業を体験。伊丹市立稲野小六年道安あずささん(12)と同小五年塚本藍さん(11)は「刈り取った稲束を運ぶ作業などとても疲れ、農家の人たちの苦勞がよくわかった」と発表。また、グループに分かれて農作業を

## 田植えから収穫 苦勞、喜び…



農作業を指導した粟野さん(左)と一緒ににおにぎり作りを楽しむ子供たち

通して感じたことなどを話して感じたことなどを話した。若い人が農業に興味を持つ一歩になればと思う。う」と話していた。

### 篠山の農家 都市部の子供たちと

### お米サミット

昼食では、参加者らが粟野さんから地元の人たちと一緒に自分たちで収穫したコメでおにぎりを作り、「大きすぎた」「おいしい」など試食を楽しんでいた。

男性かつら  
フリーダイヤル  
0120-80-7830